

社会保障法Ⅱ

科目ナンバリング SOL-306

選択 2単位

杉山 有沙

1. 授業の概要(ねらい)

少子高齢化社会が到来した日本において、社会保障法は、私たちが「人間らしく」生きていくために重要な役割を果たしています。テレビや新聞などで、ホームレスや子どもの貧困化、老老介護など多くの問題を目にしたことがあると思います。こうした現実社会に存在する多くの問題を法律の観点から対応を図ろうとするのが、社会保障法といえます。

本講義では、労働保険、社会手当、公的扶助について取り扱います。

2. 授業の到達目標

- ① 社会保障法一般と各論の基本構造を理解する。
- ② 社会保障法制度をどのように保障していくべきか、について考えることができるようになる。
- ③ 自分の問題として、社会保障制度のあり方を考えることができるようになる。

3. 成績評価の方法および基準

定期試験(70点)と中間レポート(30点)で評価します。

4. 教科書・参考文献

教科書

加藤智章・菊池馨実・倉田聡・前田雅子 『有斐閣アルマ 社会保障法(6版)』(2015年)。 有斐閣

5. 準備学修の内容

予習: 次回授業のために、参考文献にある教科書に目を通しておいてください。

復習: 授業レジュメを再度読んでおいてください。

6. その他履修上の注意事項

社会保障法は、とても身近な法律です。生まれてから、死ぬまで、私たちは社会保障法と関わり続けていると言っても過言ではありません。ぜひ、ご家族や身近な方と社会保障法について積極的に話してみてください。

7. 授業内容

【第1回】	オリエンテーション(本講義全体の見取り図、受講の目的と意義)
【第2回】	労働保険①
【第3回】	労働保険②
【第4回】	労働保険③
【第5回】	労働保険④
【第6回】	社会手当①
【第7回】	社会手当②
【第8回】	公的扶助①
【第9回】	公的扶助②
【第10回】	公的扶助③
【第11回】	公的扶助④
【第12回】	公的扶助⑤
【第13回】	公的扶助⑥
【第14回】	公的扶助⑦
【第15回】	まとめ